

医学生のための緩和ケア病棟研修(医学生対象)

【研修の概要】

近年、緩和医療の概念は末期の進行疾患のみが対象ではなく、積極的治療期間にこそ、緩和ケア（サポートティブケア）を提供すべきであるという方向へ変化しています。当院緩和ケア内科では、緩和ケア病棟における終末期医療の提供のみならず、がん診断直後の心のケア・根治術後の疼痛管理・化学療法中の支持療法提供など、積極的がん治療を Support する緩和医療を提供しております。また、「麻酔科専門医ならでは」の治療として、超音波ガイド下神経ブロックや神経破壊術、超音波ガイド下中心静脈穿刺なども積極的に行っています。

【対象】

医学部学生（学年は問わない）

【研修期間】

半日～1週間（希望により短縮・延長可能）

【一般目標】

生命を脅かす疾患に罹患している患者や、その家族に対して提供される緩和ケア・緩和医療を理解する。

【行動目標】

1. 一般病棟で提供される緩和ケア・緩和医療領域の標準的な診断治療についての知識を得る。
2. 緩和ケア病棟で提供される緩和ケア・緩和医療の標準的な診断治療についての知識を得る。

【主な研修内容】

毎日：緩和ケア病棟カンファレンス・緩和ケア病棟回診・緩和ケア外来を見学

毎週水曜：緩和ケアチーム回診を見学

毎週金曜：緩和ケア病棟多職種合同カンファレンスを見学

第1・3水曜：緩和ケアチーム多職種合同カンファレンスを見学

【研修指導医】

高橋正裕（緩和ケア内科 部長）

1998年 奈良県立医科大学医学部医学科卒

2004年 奈良県立医科大学大学院医学研究科卒（薬理学）

2005年 奈良県立医科大学 麻酔科学教室 助教

2010年 奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター 講師

2012年 現職

医学博士 日本緩和医療学会暫定指導医 日本麻酔科学会指導医・専門医